「地球の顔」ニュース

公開No.015
責任者　佐藤 欣一

回覧確認欄

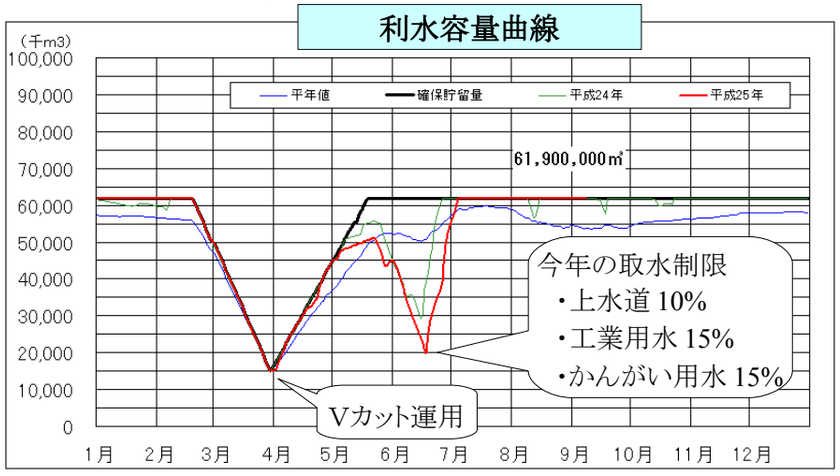
＊＊＊　工業用水の利用　＊＊＊

◆ 私たちの水がめ 岩屋ダム　こんな運用をしていました

尾張地方の水源である岩屋ダムは、洪水調節・上水道・工業用水・かんがい用水・発電の役割を持った多目的ダムです。

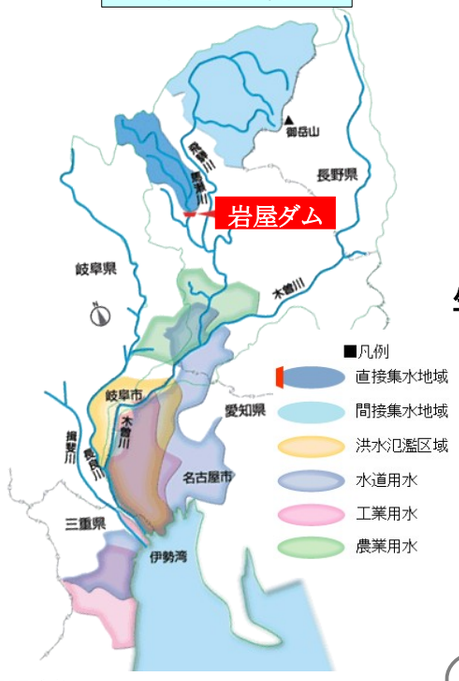
特徴的なのは、上水道、工業用水、かんがい用水の利用量が少なくなる２月20日から５月20日の間は、春先の雪解け水による水量の回復を予測しながら、発電を主体とした放流を行い、一時的に貯水池容量を低下させます。グラフが「V」字になっているので、Vカット運用と言われています。

利水容量曲線



岩屋ダムHPより

受益地域



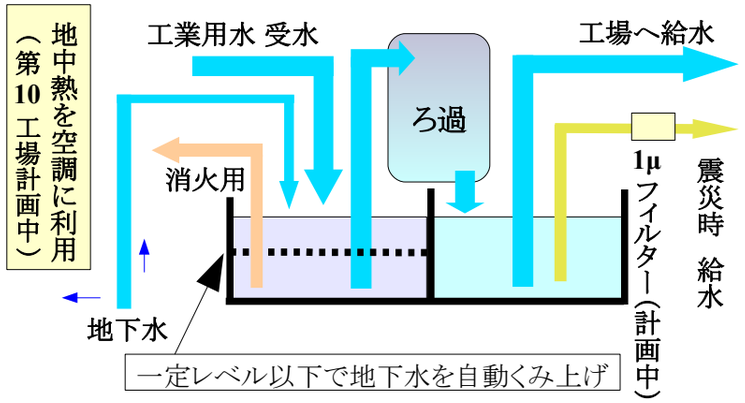
◆ 生産に必須 工業用水の受水・給水　本社工場

用途：ボンデ工程の湯洗・水洗（工業用水全体の80％を使用）、洗浄場、
　　水溶性切削油の希釈水、手洗い（工場一部）、トイレ（工場）、消火栓
給水能力：27㎥/h（契約の基準）　※最大で40㎥/h
使用量：約17万㎥/年　料金：約700万円/年
※料金は27㎥/h・30円/㎥で計算した定額制であり、使用が少なくても料金は同じです。一方、27㎥/hを超えた分は、倍（60円/㎥）になります。

工場敷地南側から受水して、使用状況は常に県の水道事務所にデータが転送されています。例えば、渇水での取水制限時には、そのデータを基に尾張地方の受水者全体で節水のバランスがとれるように利用されます。

受水設備の構造

受水した工業用水は、浄水場で凝集させた細かなゴミや砂を社内のろ過装置でろ過し、給水しています。



本社ビル東
受水・ろ過・給水　設備

生産を止めない為に　　本社 ESSG の活動

- 受水状況確認（毎日）
- 給水するためのポンプの点検（毎日）
- メーターの記録43か所（毎日）　異常数値は、原因追究
- 水を多く使用する部署への使用量報告
- ポンプやバルブなどの整備
- 漏えいが見つけやすいように地上配管
  （一部で埋設管ですが、地上化の予定あり）

必要のない時は出しっ放しにせず、有効にご利用ください。

【火災・震災】時　　地域へ“水”の協力

≪近隣の火災　消防車へ提供≫

近隣で火災があった場合、要請に応じて本社ビル東側の工業用水受水槽から水を提供します。消防車は、30㎥/hぐらいで放水しますが、最大で受水すれば対応できます。放水時も生産には問題ありません。

ちなみに、使用した水は、工業用水より高い上水道の料金で支払われます。

守衛所に掲示
災害時応援協定締結機関

≪震災　地下水を給水≫

震災時は、水道や電気が止まることが予想されます。そこで、自家発電で地下水をくみ上げ、近隣の方の生活用水の確保に協力します。